

大学コンソーシアムひょうご神戸  
2025年度 第2回 国際交流委員会  
議事次第

日 時：2025年9月1日（月）持ち回り開催

回答期限：2025年9月9日（火）正午

委員校：兵庫県立大学(委員長校)、神戸市外国語大学(副委員長校)

明石工業高等専門学校、芦屋大学、大手前大学、大手前短期大学、関西国際大学、関西福祉大学、  
関西学院大学、関西学院短期大学、芸術文化観光専門職大学、甲南大学、甲南女子大学、  
神戸海星女子学院大学、神戸大学、神戸学院大学、神戸国際大学、神戸市看護大学、神戸松蔭大学、  
神戸女学院大学、神戸親和大学、神戸常盤大学、園田学園大学、兵庫大学、兵庫大学短期大学部、  
流通科学大学（計26校）

## I. 審議事項

1. 令和7年度私立大学等改革総合支援事業（タイプ3プラットフォーム型）への申請に伴う  
達成状況評価シートの作成について （資料1）  
標記に関し、森理事長から各事業委員会に、参考資料のとおり依頼があった。  
資料1について、「実績」及び「評価・備考」欄に記載の内容で提出することにつき審議。  
なお、「評価・備考」欄に記載の評価（選択肢：S A B C D）の基準については、理事長からの依頼  
文書（資料2）参照。

## II. 連絡・調整事項

1. 2025年度の国際交流委員会開催予定と主な議題について  
第3回委員会 12月：2025年度事業自己評価（案）について  
第4回委員会 2月：2026年度事業計画・予算（案）  
第5回委員会 3月：2025年度事業報告・決算（案）

以上

### <資料一覧>

- ・資料1：【国際交流委員会】2025年度中長期計画の達成状況評価シート（様式3）
- ・資料2：「令和7年度 私立大学等改革総合支援事業（タイプ3プラットフォーム型）」  
への申請に伴う達成状況評価シートの作成について（依頼）

プラットフォーム名：ひょうご産官学連携協議会

r 様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内)					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
⑤外国人留学生と日本人学生等の交流促進  国際交流委員会	<b>【取組1の目標】</b> 本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：参加学生の80%以上(期間中2回測定)  参加者数 2500名以上/5年	<b>【取組1】兵庫国際交流会館における国際交流拠点推進事業の実施</b> ・企画チームにおいて学生が主体的に学ぶことによる行動変容や、大学連携・産官学連携による留学生支援の新たな課題とニーズへの取組促進、地域や企業へ高度外国人材としての留学生の理解促進等の効果が期待される。 ・日本人学生や地域の高校生等の海外機運醸成、留学促進等、グローバル人材の育成が期待される。 ・留学生が地域で活躍することや、外国人への防災教育等の実施を通して、多文化共生社会の地域における拠点となることが期待される。	<b>【取組1の活動指標】</b> 各年参加者数 500名以上/年	<b>【取組1】</b> <b>【活動指標】</b> 各年参加者 2024年度9月1日～3月末日(以降2024年度と記載) 1651名 2025年度4月1日～9月末日(以降2025年度と記載) 446名+見込102名 <b>【達成目標】</b> 国際理解が深まった割合 英語村：93%  <b>【取組1 事業概要】</b> (1)国際的視野を持ち、国際社会で活躍できる人材の育成 ・国際交流スタッフミーティング 合計11回 53名+見込20名 (9/17、10/12、10/22、5/13、5/21、6/19、7/1、8/18、8/29、9/8、9/18) ・SNS発信力UP講座45名 (2/12-2/13 全2回)  (2)高度外国人材としての外国人留学生の日本定着に向けた取組 ①生活の支援 ア：防災教育の実施 合計6回 139名+見込40名 (9/10、11/29、6/7、7/6、9/6、9/20) イ：大阪出入国在留管理局神戸支局による在留資格の相談会の開催 合計14回17名  ②外国人留学生を活用した国際理解教育事業 ア：地域連携プログラム「英語村」 合計5回 670名 (11/21、11/28、3/6、7/7、8/21、8/22、)	S

r 様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内)						
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考	
				イ：大学との連携による共同事業 合計4回 262名 (9/19、10/8、11/27、10/26) ウ：兵庫国際交流会館との連携による交流研究発表会の参加勧奨、HIH 寮祭などの実施 合計2回 165名 (10/19、10/26) ③外国人留学生のキャリアサポート事業日本企業と交流する機会や日本特有の就職活動、企業文化、ビジネスマナーを学ぶ機会の提供 合計7回 220名+見込22名 (9/10~9/11、10/11、3/19、6/3、6/7、6/25、9/20)  (3)多文化共生社会の実現を推進する事業「Nada Global Village(NGV)」の実施 合計11回 385名+見込20名 (9/27、10/26、11/23、12/22、2/7、2/22、4/20、5/24、7/27、8/8、9/7)  (4)情報発信事業と支援者間ネットワーク体制の強化 ・国際交流委員会 合計2回 35名 (2/14、4/30) ・情報交換会 合計2回 50名 (2/14、2/25) ・国際交流委員会と4者協定メンバーの交流会21名(4/30) ・インバウンドセミナー52名(8/7)		
	【取組2の目標】 本プログラムへの参加を通じて国際理解が深まったことを実感する学生の割合：	【取組2】加盟校の国際交流プログラムとの連携促進 ・各加盟校の強みや特徴を活かした国際交流プログラムを加盟校に開放することで、自学では得ることができない学びの経験とネットワークの構築の機会を学生に提供でき、加盟校の学生の学びが深まり、人脈が広がることを期待される。	【取組2の活動指標】 プログラム数 2件以上/年	【取組2】 [活動指標] プログラム件数 2024年度 4件 2025年度 2件 [達成目標] 国際理解が深まった割合	A	

r 様式3) 達成目標・活動指標等 (おおむね10頁以内)					
課題	達成目標	課題を解決する取組概要	活動指標	実績	評価・備考
	参加学生の 80% 以上(期間中 2 回測定)  プログラム数 10 件/5 年	・加盟校が抱える国際交流の課題を加盟校間で共有し、解決に向けたプログラムを実施することで、加盟校全体の国際交流の課題解消、多文化共生社会で活躍する学生の育成に繋がる効果が期待される。		明石高専 UIA (裏千家インターナショナルアソシエーション) 茶室展示・茶道体験・講演会：87.5% 神戸常盤大学 学生海外派遣プログラム：100%  【取組 2 事業概要】 2024 年度 ・学生海外派遣プログラム (神戸常盤大学) ネパール 3 名(9/2~9/11) アメリカ 5 名(9/13~9/23) オーストラリア 6 名(9/9~9/17) ・明石高専 UIA (裏千家インターナショナルアソシエーション) 茶室展示・茶道体験・講演会 (明石工業高等専門学校) 10/26 ・兵庫県立大学トークイベント モンゴルに住んでみた (兵庫県立大学) 11/13 ・SNS 発信力 UP 講座 (兵庫大学) 2/12、13  2025 年度 ・学生海外派遣プログラム (神戸常盤大学) カナダ (24 名、うち 1 名神戸市看護大学) (8/9~8/20) ネパール (確認中) 名(確認中) ・防災カード開発企画 (神戸学院大学) (6/7、7/6、9/6、9/20)	
⑥大学教職員の研修機会の提供と交流の促進  FD・SD 委員会	【取組 1 の目標】 各年セミナー数 5 件以上		【取組 1 の活動指標】 参加者数 100 人以上/年		

2025年9月吉日

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸  
事業委員会 正副委員長 各位

一般社団法人大学コンソーシアムひょうご神戸  
理事長 森 康俊  
(関西学院大学 学長)

「令和7年度 私立大学等改革総合支援事業(タイプ3 プラットフォーム型)」への  
申請に伴う達成状況評価シートの作成について (依頼)

拝啓 新秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素は大学コンソーシアムひょうご神戸の活動に深いご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、標題の件につきまして、2024年度の実績及び2025年度の実績・計画、並びに達成状況評価を記載の上、ご提出いただきますようお願いいたします。

大変お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、申請準備の関係上、9月10日(水)正午までに当コンソ事務局までご提出をお願い致します。ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせ下さい。

当コンソの更なる発展と事業の充実のため、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

敬具

## 記

## ○記載をお願いする事項

様式3)の「実績」欄の記入(※1)、及び「評価・備考」欄への評価(※2)の記載

※1:対象期間は次のとおりです

2024年度実績:2024年4月~2025年3月

2025年度上期実績:2025年4月~2025年9月

2025年度下期計画:2025年10月~2026年3月

※2:評価は次のいずれかを選択してください

S:当初の計画を超え、目標を上回る顕著な成果が得られている

A:当初の計画を着実に実行してきており、目標に対し十分な成果が期待できる

B:当初の計画をほぼ実行できているが、一部に遅延、未達等の取組があり、目標の達成に継続した努力が求められる

C:当初の計画について半数以上の取組について未達であり、取組や目標に関して一定の見直しが必要である。

D:当初の計画を大幅に下回っており、目標の達成見込みがないため、計画に関する抜本的な見直しが必要である。

## ○今後のスケジュール(予定)

- ・9月1日 各事業委員会への達成状況評価シートの作成依頼
- ・9月10日 各事業委員会から達成状況評価シートの提出
- ・10月27日 第4回理事会にて申請内容の審議(共通設問、達成状況評価他)
- ・10月28日 ひょうご産官学連携協議会総会にて申請内容の審議
- ・10月31日 申請書類提出期限

以上